

< 編集後記 >

名古屋大学情報連携基盤センターニュースとなって第3号を迎えます。センターがより広範な情報基盤を支えるセンターとして再編されるとともに、センターニュースも記事の内容が多岐にわたり、より多くの方にとって読み応えのあるものになってきています。

情報連携基盤センターにあるスーパーコンピュータから、Linux, Windows, マッキントッシュの最新OSまでの最新情報がいっぱいです。世界中がインターネットでつながったネットワーク時代のセキュリティ関連の話題も多くなってきています。

本号の新しい話題として、バイオインフォマティクスの最新情報が解説されています。これまでコンピュータと縁が浅かった生物学分野において、現在爆発的に情報が蓄積しつつあります。ゲノム情報ははじめとして、今や情報処理なくして生物学が成り立たなくなってきました。またインシリコ生物学というコンピュータ上の生物学も新たに生まれてきています。

エネルギーを取り扱う熱力学に「エントロピーの増大則（熱力学第二法則）」があります。これは、エネルギーのでたらめな広がりを目安を示すエントロピーは、放っておくとどんどん増えていってしまうというものであります。生命活動やそれに伴う創造活動は、あたかもこの自然法則に逆らっているようであります。この熱力学的エントロピーの概念は、一般化されて情報エントロピーと呼ばれ、同義語であることがわかっています。エントロピーが大きいことは情報が少ないことを示し、情報を取り扱うことはエントロピーを小さくする生命活動・創造活動のようなものであります。話がそれましたが、情報連携基盤センターがこの創造活動の基盤を支えるセンターとして有用な情報をニュースにて提供しています。内容の豊富さは最近のトレンドマガジン顔まけの冊子に仕上がっています。多くの読者のフィードバックを期待しています。

(H.O)